

大桑 29歳 無所属 まさたか



サラリーマンから^{しせい}市政にチャレンジ!

私たち市民が政治に参加する流れを作ります!

栄区から、しがらみのない政治を実現します!

自分の貯金

政治活動資金 100万円からスタート(^o^)

3月11日現在の政治活動資金 残高

76万6887円

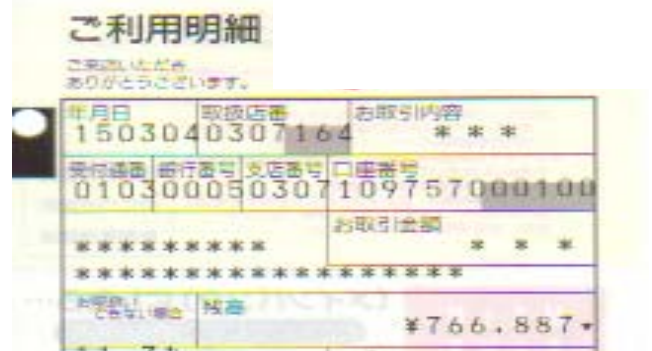
前回までの合計	524,764 円
道路使用料(3月分)	4,000 円
郵便代	15,490 円
ウイルスバスター(パソコンソフト)	6,279 円
自転車修理費	900 円
住民票・戸籍抄本	750 円
合計(使ったお金)	552,183 円

自分のできるところから、**情報公開**の徹底です!

12月で会社を辞めました!

毎日 駅に立つために、
毎日 みなさまとお会いするために。

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで



今回のカンパ 16,000 円

カンパの合計 + 319,070 円

さらに多くの方からカンパをいただきました!
本当にありがとうございます。みなさまの「気持ち」を大切に、1円も無駄にしない活動を「あきらめずにやりつづけて」いきます。

大桑新聞 第6号

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

昭和48年7月4日生まれ横浜育ち 29歳 血液型A型
横浜市立小山台小学校入学
大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)
神奈川県立大岡高校卒業
神奈川大学法学部法律学科卒業
派遣会社アシスト株式会社へ就職
2002年12月 派遣会社アシスト株式会社 退職

若者政治家養成塾在籍(第1期生)

趣味 : サッカー、バスケットボール
家族 : 両親、第二人、ママ(ねこ)

発行元

「大桑正貴としがらみのない政治を実現する会」

〒247-0002 神奈川県横浜市栄区小山台1-20-16
TEL&FAX : 045-895-2440
携帯電話 : 070-6511-1295

<http://www.5a.biglobe.ne.jp/m-okawa/>
E-mail : m-okawa@mvg.biglobe.ne.jp

ボランティア大募集! TEL&FAX:045-895-2440
大桑と一緒に、泣いたり、笑ったり、喜んだりしてくれる人を募集しています。

討議資料

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅いずれかの駅で配布しております。

アンケート速報！

毎回、大桑新聞を読んでいただきありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします！！
前回、大桑新聞第5号においてアンケートを実施致しました。手渡し、もしくはFAX等でのご返事ありがとうございます。
その途中結果をご報告します！！（ご意見の多かった3つの課題を紹介します）

- 少子高齢化**：みなさんの関心が圧倒的に高く、まさに「今ここにある課題だ」とあらためて感じました。
（少子化と高齢化は切り離して考えず、ひとつの問題として取り組むことが重要というご意見もいただきました）
- ゴミ対策**：ゴミの分別方法（種類）について、ゴミのリサイクルについてなどのご意見が多かったです。
- 道路対策**：これは環状4号線についてのご意見が多かったです。
（高速道路は必要なのか？一般道の整備が先ではないかなど）

尚、大桑新聞第6号においても引き続きアンケートを行います。ご協力よろしくお願いいたします！！

平均年齢54.9歳！

これは、今の横浜市の市議会議員の平均年齢です。（平成14年10月25日現在）。

横浜の市議会議員90名の内訳ですが…

20代は0人、30代が4人、40代が18人、50代が44人、60代が21人、70以上が3人です。
もっといろんな世代が政治の場に参加をし、お互いの立場から意見を述べても良いのではないのでしょうか？？
また横浜の市議会はここ何十年、解散はありません。と言う事は、4年に1度しか選挙がないと言うことです。
早いうちに横浜の議会の若返りをはからないと、気がついた時には政治の担い手がいないと言う事態になりかねません！
ちなみに…、中田現横浜市長（38歳）より若い横浜の市議会議員はたったの1名です！！

公約

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞を配り続けます（情報公開）。
- 2、大桑まさたかの政治活動資金を公開し続けます。
- 3、私たち市民が政治に参加する流れをつくります（しがらみをなくす）。

政策

無駄をなくし私たち市民が本当に必要なモノにお金を使う！

- 1、横浜市の上級・市役所の業務を見直す

この不況の時代、アレもコレではなく、アレかコレか選択の時代です！

- 2、56ある横浜市の外郭団体の総点検

市からの財政援助の見直し、また外郭団体の整理・統合及び活性化を！

- 3、老人ホーム、託児所などは充実させる

私たちにとって暮らしやすいまちづくりに施設は必要です！

横浜市は2005年から公共事業に電子入札制度を取り入れる予定。これにより大幅なコスト削減（年間約200億円ともいわれています）が期待できます。このように節約できたお金も、ほうっておくと、今まで通り「しがらみのある事業等」に使われてしまいます。



緊急アンケート!!!

大桑まさたかは情報公開・財政健全化・少子高齢化対策を中心に、下記の項目にも力を入れていきたいと思っています。
引き続きみなさんへ質問です！

…………… 関心のある事項がありましたらいくつでも をつけて下さい……………

- | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|
| 1、医療 | 3、育児 | 5、治安 | 7、公共施設 | 9、道路対策 |
| 2、少子高齢化 | 4、自然・環境 | 6、交通機関 | 8、ゴミ対策 | 10、教育 |

上記または上記以外についてもご意見があればお聞かせ下さい。